

第6回水中文化遺産と考古学シンポジウム

「海のタイムカプセルー水中考古学からのおくりもの」

開会挨拶

10:00

第1部 講演

10:15～12:00

コーディネーター：岩淵 聡文（東京海洋大学教授・水中文化遺産委員会委員）

The Song Nanhai 1 Shipwreck : Further Evidence for Song China's Developed Maritime Trade Relations

「宋代南海沈船1号：宋代の進んだ海洋貿易交流の新たな証拠」(10:15～11:15)

Prof. Dr. Angela Schottenhammer (Gent University, Faculty of Arts and Philosophy)

アンジェラ・ショッテンハイマ（ゲント大学人文学科教授、ベルギー）

「日本における水中考古学の発展を」(11:20～12:00)

西谷 正（九州歴史資料館長・九州大学名誉教授・水中文化遺産委員会委員）

第2部 研究・調査報告

13:30～16:30

コーディネーター：高野 晋司（アジア水中考古学研究所副理事）

「水底に消えた陸地と島の謎を追って」(13:30～14:00)

石原 渉（公益法人日本習学教育財団・アジア水中考古学研究所事務局長）

「東日本・太平洋沿岸の水中文化遺産」(14:00～14:30)

林原 利明（西相文化財研究所代表・アジア水中考古学研究所理事）

「日本海の水中文化遺産ー沿岸の海揚がり品を中心にー」(14:30～15:00)

佐々木 達夫（金沢大学名誉教授・水中文化遺産委員会委員）

「南西諸島の水中文化遺産ー中国陶磁生産地と琉球の貿易港ー」(15:00～15:30)

金武 正紀（貿易陶磁調査研究所代表・水中文化遺産委員会委員）

「沖縄県久米島で実施した水中文化遺産見学会の様子ー海底遺跡ミュージアム構想の実践ー」(15:30～16:00)

片桐 千亜紀（沖縄県立博物館・美術館学芸員・アジア水中考古学研究所理事）

「石見銀山遺跡と水中文化遺産の調査」(16:00～16:30)

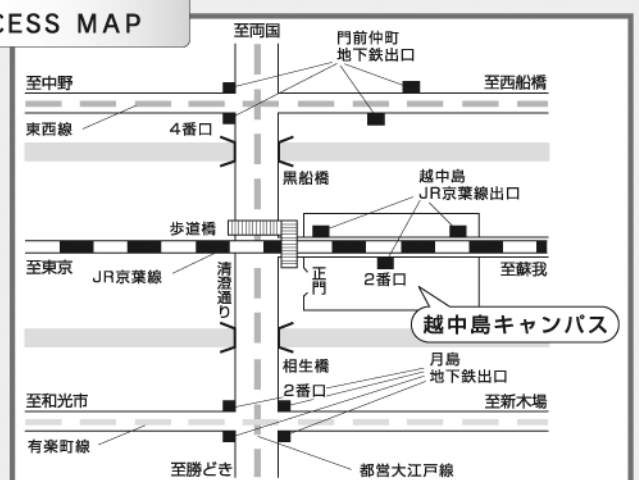
林 健亮（石見銀山世界遺産センター専門研究員）

閉会挨拶

16:30

総合司会 塚原 博

ACCESS MAP



特定非営利活動法人 アジア水中考古学研究所

福岡県福岡市博多区吉塚 6-10-12-308 Tel & Fax 092-611-4404
〒812-0041 Email : kosuwa@f4.dion.ne.jp http://www.ariau.org/